

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	有限会社 小林バレエ事務所
公演団体名	小林紀子バレエ・シアター

内容
<p>＜通常時のワークショップのプログラム＞</p> <p>▶公演当日は生徒さんに◆「アタック to バレエ」、◆「コート・ダンス・パレード」の2作品に出演していただきます。</p> <p>ワークショップでは上記演目についての指導と練習を中心に、鑑賞ポイントもわかりやすく解説いたします。男女共通の練習メニューのほか、男子用のメニュー、女子用のメニューと時間を区切ってスムーズに行います。(ホワイトボードとポータブルマイクをお借りできると助かります。)</p> <p>▶一緒に身体を動かしながら進めるワークショップ</p> <p>指導側の話を一方的に聞くスタイルでなく、“一緒に身体を動かしながら”のスタイルでワークショップを行います。1つの学年の生徒さんだけに指導するのではなく、できるだけ多くの生徒さんで行えるようにしたいと考えております。(過去には全学年の生徒さんにワークショップを行った実績もあります)また、学校の行事や学校のカリキュラムに合わせて実施いたしますのでご要望をご相談ください。</p> <p>▶ワークショップ映像を公演時に放映！</p> <p>ワークショップの時間は、基本的に2コマを使用しますが調整可能です。またワークショップにおいて生徒さん達が真剣に指導を受け、練習している様子をスタッフがビデオカメラで撮影し、公演時に生徒さんの貴重な体験記録としてダイジェスト版をスクリーン(持ち込み)を使って放映します。ワークショップに参加できなかった学年の児童生徒も様子をお伝えします。</p>

タイムスケジュール(標準)
ワークショップ(90分間)当日のスケジュール(下記は午後開催の場合の時間目安)
12                      13                      14                      15                      16 (時)
←準備・セッティング→ ←                      ワークショップ                      → ← 片付け・打合せ                      → ← 撤 収 →
※学校到着後、ワークショップ開始1時間前から体育館でワークショップのためのセッティングおよび指導者のウォーミングアップ等を行わせていただきます。ワークショップではピアノ、マイク、ホワイトボード等を借用させていただきます。準備から撤収までの所要時間の目安は約3時間半～4時間です。

派遣者数
指導者(3名) スタッフ(2名) 計5名

学校における事前指導
------------

学校の先生・生徒さんに出演していただく公演演目「アタック to バレエ」、「コート・ダンス・パレード」において必要な、舞台メイク、髪型等の解説のほか、バレエダンサーのレッスン内容についての説明・指導・練習を行います。

またワークショップにおいて生徒さんたちが真剣に指導を受け、練習している様子をカメラで撮影し、公演時に生徒さんの貴重な体験の記録としてそのダイジェスト版を、スクリーンを使って放映します。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	有限会社 小林バレエ事務所
公演団体名	小林紀子バレエ・シアター

<b>演目</b>
<p>演目①『Movement Caprice』 振付・演出：小林紀子 作曲：ルイ・ゴッドシャルク（米国）</p> <p>演目②『アタック to バレエ』“バレエダンサーに挑戦” <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">★生徒共演作品</span> 演出・脚本：小林紀子 作曲：スコット・ジョプリン（米国）他</p> <p>演目③『コート・ダンス・パレード』“バレエ作品を体験” <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">★生徒共演作品</span> 演出・脚本：小林紀子 作曲：アドルフ・アダン（仏国）</p> <p><u>メイン演目④『ソリテイル』</u> 振付：ケネス・マクミラン（英国） 作曲：マルコム・アーノルド（英国） 初演：1956年6月7日 サドラーズ・ウェルズ・バレエ団（英国）</p> <p style="text-align: right;">公演時間（約80分 休憩5分含む）</p>

<b>派遣者数</b>
<p>出演者（25名）スタッフ（26名） 合計51名</p>

<b>タイムスケジュール（標準）</b>
<p>8            9            10            11            12            13            14            15            16            17 (時)</p> <p>←            会場設営            → ←            リハーサル等            → ←            本番            → ←            撤去            →</p> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 11:00～60分程度ワークショップで練習した児童生徒共演の演目部分の最終リハーサルを行います。</p>

<b>実施校への協力依頼人員</b>
<p>（小学校の場合） 出演者として→【教師2名、児童小学3年生～6年生まで34名】</p> <p>（中学校の場合） 出演者として→【教師2名、中学1年生～3年生まで34名】</p>

## 演目解説

バレエにはセリフがありません。どのように物語や気持ちを伝えるのでしょうか。

“バレエ”は発想力を育て、様々な感性や視点で観ていただける総合舞台芸術です。

世界中の人々、男の人、女の人、大人、子供、みんなに長いあいだ愛され続けている“バレエ”。

4つの作品を通してその魅力を余すところなくご紹介します！

### ▶演目①「Movement Caprice (ムーヴメント・カプリース)」— 初めて観るバレエの動き！

みどころ：鼓動のようなリズムの音楽が響き、少しずつ明かりが入ってダンサーのシルエットが浮かび上がります。一気に明かりがつくと、バレエダンサーたちが目の前に！バレエティアーに富んだ曲想に合わせて、ソロや群舞、美しくダイナミックな動きやリフト、軽快な回転など、目まぐるしく展開し、初めてバレエを目にする生徒さんへ新鮮な驚きと感動を与えます。

最初の演目「Movement Caprice」は、クラシックバレエの醍醐味のひとつである多様なテクニックがちりばめられた作品です。

### ▶演目②「アタック to バレエ」★生徒共演作品 — ダンサーのトレーニングの様子～みんなもバレエに挑戦！

みどころ：身体を使って音楽やドラマを表現することを職業とするバレエダンサー。かれらの毎日のレッスンの様子を、わかりやすく解説付きで披露します。バーと呼ばれる横木に手を乗せて行う動き、バーを離れてジャンプそして回転まで、どのようにしてダンサーがトレーニングを行っているかご覧いただけます。そして「体験コーナー」では生徒さんにも、舞台上で照明を浴びながらピアノの演奏に乗って、バレエに挑戦していただけます。ワークショップで事前に一緒に練習したバレエの基本ステップを、テレビCMなどでも知られているチャイコフスキーの音楽で楽しく踊っていただけます。

生徒さんが心配の無いよう、バレエダンサーが丁寧にサポートするので安心です。



演目②「アタック to バレエ」の様子→

### ▶演目③「コート・ダンス・パレード」★生徒共演作品

#### — 役柄を表す衣裳とは？セリフがなくても何を話しているか分かる！

あらすじ：時は400年前、葡萄畑が広がる村で、村人たちがぶどう狩りに出かけるようです。村人たちは柔らかい生地の洋服を着て、軽やかに通り過ぎていきます。そこへ、貴族の一行が通りかかります。貴族はいかにも権威を示すような、女性は10～15キロある洋服、男性は20～30キロもある重い織物で作られた洋服を着て、一歩一歩ゆっくと優雅に歩いています。村人たちは貴族に深く頭を下げ、短い踊りで歓迎します。

村人たちが葡萄を囲んで腰を下ろした途端、時間が止まってしまったようです！

そこへいたずらな妖精がスキップをしながら現れます。妖精たちは時間が止まっている間に、村人のかごから葡萄、男性の貴族の帽子、女性の貴族の手袋などを持って行ってしまったようです。さあどうなるのでしょうか。

みどころ：セリフがないバレエでは、「マイム」と呼ばれる動きで言葉を表すことがあります。「あなたのお洋服、とっても素敵ですね！」という意味のマイムや、「喉が渇きました。何か飲むものはありますか？」という意味のマイムなどが出てきます。とても自然な動きなので、初めて見る人でもどんな意味だか分かりやすいですよ。

「コート・ダンス・パレード」では、妖精役を学校の生徒さんに演じていただきます。生徒さんには妖精の衣裳を着て、バレエシニヨン（おだんご）を結って白い花輪の頭飾りを付け、シンプルな舞台メイクを体験していただきます。バレエダンサーが生徒さんとお話ししながらヘアセットとメイクをいたします。みんなメイクが終わったお友達のお顔を見て「かわいい！」と大好評です！生徒さんに踊っていただくステップは、ワークショップでしっかりと練習しますので心配いりません。



貴族のイメージ↑



演目③「コート・ダンス・パレード」↑



演目④「ソリテイル」↑

#### ▶演目④「ソリテイル」— 周りの人たちとのかかわり、自分という存在について・・・

あらすじ：中心となる少女は、彼女を取り巻く世界に上手く馴染むことができません。少女が頬杖をついて宙を見上げると、目の前にたくさんの友達が現れます。友達は少女に手を差し出し、少女は手を取ります。友達は、楽しそうに少女に駆け寄って彼女を驚かせたり、少女の気持ちに寄り添い包み込みます。少女や友達がどんなお話しをしているのか、少女がどんなことを考えているのか、想像しながら見てみましょう。きっと、少女やそのお友達の話し声が聞こえてきますよ・・・

みどころ：少女の前に現れては消える個性豊かな登場人物たち。様々な友達との関りの中で少女が抱く憧れや、希望、憂いを、穏やかでユーモラスに、かつ切なく描いているバレエです。少女の気持ちが揺れる様子が、見ている者の胸に響きます。セリフを使わないからこそ、心の奥に響くものがあります。ひとりひとりの児童生徒が、それぞれの視点で観て感じてもらいたいバレエ作品です。

この作品は、“児童、生徒の芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養う”という目的のため、英国の振付家著作権団体から特別に上演許可を得ています。

＜『ソリテイル』振付：ケネス・マクミラン Kenneth MacMillan＞（1929－1992）

マクミランは、スコットランド生まれ。『マイヤリング』『マノン』『ロメオとジュリエット』『アナスタシア』など世界で最も人気の高い振付家として、現在も世界のメジャーバレエ団でマクミラン作品が数多く上演されている。1983年、マクミランの英国バレエ界への多大な貢献に対してKnight（ナイト）の称号が与えられ、心臓発作によってこの世を去った翌年の1993年には、彼の生涯にわたる業績が称えられ、オリヴィエ特別賞が贈られた。

#### 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

▶世界中の人々、男の人、女の人、大人、子供、みんなに長いあいだ愛され続けている“バレエ”。

4つの作品を通してその魅力を余すことなくご紹介します！

バレエには様々な要素があります。特徴ある美しい動きや衣裳はその代表ですが、他にも音楽や照明、舞台装置など様々な要素から成り立つため、『総合芸術』と呼ばれています。

バレエの醍醐味の一つでもある様々なテクニックが驚きと感動を与える『Movement Caprice』から始まり、生徒さんにもバレエのステップに挑戦していただく『アタック to バレエ』、まるでタイムスリップしたかのようなヨーロッパの貴族の時代を表現する『コート・ダンス・パレード』、最後はストーリーバレエである『ソリテイル』というプログラム構成です。

1つの作品の長さが20分くらいですので、最後まで集中してみるすることができます。

### ▶芸術に触れる喜び！

私たち小林紀子バレエ・シアターが得意とするのは、英国の振付家による『心理』や『ある人物の生き様』などを表したストーリーバレエです。バレエは『美しさ』や『ファンタジー』にとどまらず、様々な感情・心理を表現する、とても雄弁な舞台芸術です。

『ソリテイル』は、自分を取り巻く世界にうまく対応することができない少女が、様々な友達と関わっていく様子や、友達との関わりの中で少女がどんなことを考えているか、穏やかでユーモラスに描かれています。是非バレエで語られる物語を楽しんでいただきたいと思います。

『ソリテイル』の解釈は人それぞれです。私たちは、作品をどのように見てほしいという事はありません。見終わったときに、何だかわからない優しい気持ちになっているかもしれません。見たことがないものを見て、目がキラキラしているかもしれません。涙があふれてくるかもしれません。いつもは話しかけられない友達に明日話してみようと思うかもしれません。

是非その気持ちを生徒さんたちが心にとどめて、芸術に触れることの喜びを知っていただけたら私たちにとってこの上ない喜びです。

### ▶どこの席もS席！臨場感たっぷりの客席設計。

一歩体育館に足を踏み入れると、すっかり劇場に姿を変えています！

舞台を囲むように客席が配置された円形劇場をイメージした舞台では、どこの席もS席！と感じていただけるように工夫されていますので、どの位置から見てもダンサーの演技を間近で見ることができます。それぞれの角度からダンサーの色々な表情が良く見えます。これは、小さなお子様でも舞台に注目し、バレエの世界に浸ることができるための工夫です。

開演が近づくと、外からの明かりがほとんど遮断され、本当の劇場のように暗くなり、ライトが当たる舞台から目が離せなくなるでしょう。

### ▶発見の連続！ たくさん発見することが、学ぶ楽しさや発想力につながります！

ダンサーの動きはもちろん、ピアノの演奏や音楽、美しくデザインされた衣裳やジュエリー、刻々と変化する照明など、そのすべての要素が素晴らしい舞台に欠かせないものなのです。

バレエを体育館で見ることだけでも、とても新鮮なことです。本公演ではぜひ舞台のあらゆるところに目を移してみてください。随所に新たな発見がたくさんあること間違いなしです。

### ▶磨きあげられたバレエダンサーの躍動。

バレエの大きな特徴のひとつに、セリフなどを用いずに、ダンサーの動きのみで作品の世界観を表現するということがあげられると思います。舞台上で躍動するバレエダンサーの身体を通して、音楽のイメージ、作品のテーマ、男女の感情、またストーリーが語られていくのです。だからこそバレエダンサーは、たえず自分の技術や表現力を磨き、全身を使って多くのことが表現できるよう訓練をしています。

### 児童生徒とのふれあい

生徒さんは◆「アタック to バレエ」、◆「コート・ダンス・パレード」に共演します。

バレエダンサーと直接ふれあい、バレエダンサーのように準備をし、また実際に生徒さんひとりひとりが円形劇場をイメージした舞台や、本格的な照明のライトのなかで表現するというを通して、普段の授業ではなかなか経験することのできない非日常を体験します。

※事前のワークショップ時にも、くわしく内容についてご説明、練習等いたします。

(円滑な事業実施のため、ご不安な点があれば、ご相談ください)